

大学院

臨床解剖学分野

Department of Clinical Anatomy

教授	秋田 恵一
教授	二村 昭元（運動器機能形態学講座）
准教授	山口 久美子（ヘルスケア教育機構）
准教授	原田 理代
講師	室生 暁
助教	井原 拓哉（運動器機能形態学講座）、佐々木 亨（運動器機能形態学講座）
技術職員	山本 凜太郎
事務補佐員	幸前 くるみ
非常勤講師	奥田 逸子, 近澤 研郎, 塚田 幸行, 堤 真大, 中澤 正孝, 矢野 智之, 星加 昭太, 田中 基貴, 奥原 滋 (4月~), 杉原 泉 (4月~), 森本 千恵 (4月~)
大学院生	細野 周作, 馬上 頌子, 辛川 領 (~3月), 吉松 英彦 (~3月), Isabella Georgina Djameh, 杉山 夕月, Tong Liu, Jennifer Edinam Danyo Weiyi Wang (4月~), 平野 仁菜
研究生	櫻山 尚弘

(1) 分野概要

当分野は、手術や画像診断等の解剖学的発生学的基盤の形成を通じて臨床医学のサポートを行っています。人体解剖学の教育は全身をあつかうものであるため、領域による扱いの差というものはありません。よって研究においても、全身すべてを対象としております。手術法や技術ということに左右されることなく、古典的ではありますが、人体をありのままに観察することによって見えてくる形態を表現し、示説するということが重要だと考えています。それらの観察結果を臨床医が利用しやすい形に表現することにより、解剖学的な基盤つまりは共通言語のようなものを作り出すことを目指しています。さらには、それらの形態がどのようにして形成されたのかということを考えることも重要だと考えており、実験発生や発生生物学的手法を用いた解析も行っています。

(2) 研究活動

筋や靭帯といった運動器の設計図と末梢神経系ならびに脈管系といった人体に張りめぐらされた複雑な配線図を完成させるべく研究を行い、主として「神経支配による筋の形態学的研究」および「自律神経系を中心とした臨床解剖学的研究」をテーマとして取り組んで来た。

この中で重要視しているのは、臨床的問題点へのアプローチのための解剖学的基盤の形成ということである。臨床的問題点解決のための1つの基盤として、臨床解剖学的研究が求められている。通常、臨床解剖学は Clinical Anatomy の訳であるが、これを我々は Clinically oriented anatomy ととらえている。解剖学的研究として人体構造の理解という観点としても重要であるが、臨床応用を目指すという点で今後発展させていく必要があると考えている。

代表的な研究テーマを以下にあげる。

1. 関節およびその周囲筋の形態学的解析

関節鏡視下手術が一般的になるにつれ、関節周囲の詳細な解剖が求められるようになってきた。これに応じて、従来の解剖学的な常識を疑い、手術解剖ならびに機能解剖のためのデータ収集ならびに解析を始めた。これまでの教科書的な記述の多くに先入観による誤記や不十分な調査に基づく誤りがあることがわかってきた。今後、臨床応用できるような情報として整形外科医と共同研究を進めている。

2. 総排泄腔の分化と骨盤出口筋の発生の解析

マウス胚を用いて、総排泄腔が分化し、尿生殖洞ならびに肛門の発生過程を詳細に解析するとともに、骨盤内臓の形成過程に見られる apoptosis の分布を三次元的に解析し、その変化についても解析を行ってきた。また、それらの周囲に発生する筋ならびに神経を追っている。

3. 肛門領域の臨床解剖学的研究

肛門管の構造ならびに構成する平滑筋ならびに骨格筋の配置についての解析を行い、肛門領域の外科臨床のために貢献することをめざす。

4. 婦人科癌手術における術式開発のための臨床解剖学的基盤

広汎子宮全摘術における神経温存術式開発についての解剖学的基盤を形成するため、骨盤内自律神経の分布についてのデータの収集、解析を行っている。

5. 咀嚼筋の神経支配に基づく層構造の解析

咀嚼にかかわる筋群の神経支配を精査することにより、各筋が完全に独立したものでなく、それぞれが移行的部分をもちながら連続した形態であることがわかってきた。我々は、これらの連続的な形態や筋の層構造の解析および支配神経の分枝パターンについての解析を行ない、咀嚼システムの成り立ちについて検討を行なっている。

(3) 教育活動

医学部医学科の医学導入(1学年)のPBL, 人体構造総論(2学年), 人体解剖学(2学年), 呼吸器ブロック(3学年), 消化器ブロック(3学年), プロジェクトセメスター(4学年), 臨床導入実習(4学年)を担当する。医学科及び歯学科の頭頸部基礎(2学年), 歯学科の頭頸部臨床解剖学(5学年)も担当する。

複雑な人体構造の立体的配置を様々な角度から理解することと医師・研究者として必要となる観察眼を養成することを目標としている。また、問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)の運営を担当し、自主的な学習と討論, プレゼンテーションを促している。

人体構造総論では人体の成り立ち, とくに系統発生に重点を置き, 人体の構造・配置を考える基礎を作る。また, 比較解剖学的な見地から, 脊椎動物の一般の basic body plan にも焦点をあてる。人体発生学は, 個体発生の視点から各器官の発生およびその立体配置完成のプロセスについて理解する。

解剖学講義では神経, 血管などの体内配線図を中心に, 諸構造の相互位置関係を血管・神経とのつながりを通じて理解することに重点を置いている。このためには, 解剖学実習を通じて, 剖出-観察-所見の記録-討論という過程を反復することが望ましいと考え, WebClass を用いて試みている。実習の効果を高めるには事前の講義が重要である。学習を有機的に結びつけるため, 講義・実習の中に臨床医学的要素も取り入れている。

臨床実習を開始した高学年の学生に対しては, 具体的な診断・治療を理解するうえで必要になる臨床解剖学的な講義をグループ討論形式でおこなっている。

(4) 教育方針

記述解剖学, 記述発生学から導かれた形態形成の理論や仮説は, 実験発生学によって確かめられ修正が加えられてきました。さらに発生生物学の発展によって, 形態形成にかかわる遺伝子やシグナル等が同定され, 仮説を現実のものとして確かめられたり, モデルに修正が加えられるようになってきました。しかしこれらの議論の対象となっているモデルにおいて前提となるのは, あくまでも解剖学が完成した揺るぎのないものであるということです。現実に解剖をし, 検討をしていくと, 決して解剖学が完結したのではなく, まだまだあいまいなままにされているということがわかってきます。解剖学とくに肉眼解剖学のように, 手技としては非常に古典的なものを用いるものでは, すべてやりつくされ, 新しいものなどないように思えるのですが, 临床上で必要とされなかったために検討が十分になされなかった部分も多く見られるのです。

(5) 研究業績

[原著]

1. Numasawa M, Nawa N, Yamaguchi K, Akita K, Yamawaki M. Association between grit and depressive symptoms among medical students, moderated by academic performance. *Medical education online*. 2024.07; 29(1); 2373523
2. Shusaku Hosono, Koji Fujita, Akimoto Nimura, Takuya Ibara, Keiichi Akita. Cervical Spine Range of Motion and Sleep Disturbances in Patients With Atopic Dermatitis: A Cross-Sectional Study. *Cureus*. 2024.12; 16(12); e75449

3. Sara Sugiura, Toru Sasaki, Koji Fujita, Toshitaka Yoshii. Treatment for Overgrowth of a Finger Owing to Vascular Malformations: A Case Report. *Cureus*. 2024.11; 16(11); e74716
4. Fukino, K; Iitsuka, M; Kitagawa, N; Tubbs, RS; Akita, K; Iwanaga, J. Three-dimensional Analysis of the Muscles Related to the So-Called "Pterygomandibular Raphe": An Anatomical and Histological Study *DYSPLAGIA*. 2024.08; 39(4); 642-647
5. Masahiro Tsutsumi, Akimoto Nimura, Hajime Utsunomiya, Shintarou Kudo, Keiichi Akita. Capsular attachment on the anterosuperior femoral head-neck junction: A hypothesis about femoroacetabular impingement. *J Anat*. 2024.08; 245(2); 231-239
6. Muro S, Chikazawa K, Delancey JOL, Akita K. Skeletal Muscle Complex Between the Vagina and Anal Canal: Implications for Perineal Laceration. *International urogynecology journal*. 2024.07; 35(12); 2313-2322
7. Masahiro Tsutsumi, Seiya Kanazawa, Akimoto Nimura, Keiichi Akita, Shintarou Kudo. In vivo movement interrelationships among the medial meniscus, joint capsule, and semimembranosus during tibial rotation. *Sci Rep*. 2024.07; 14(1); 17022
8. Toda H, Oshima T, Ibara T, Chin T. Longitudinal Alterations in the Control of Lateral Center of Mass Movement During Walking in a Patient With Unilateral Transtibial Amputation: A Case Study. *Cureus*. 2024.06; 16(6); e61683
9. Fukino, K; Tsutsumi, M; Honda, E; Nimura, A; Iwanaga, J; Akita, K. Contribution of the complex comprising the masticatory fascia, disc, and capsule to temporomandibular joint stabilization: An anatomical study *ANNALS OF ANATOMY-ANATOMISCHER ANZEIGER*. 2024.06; 254; 152268
10. Yuka Nishimura, Masahiro Tsutsumi, Rintaro Yamamoto, Tohma Sakuraya, Kenji Emura, Takamitsu Arakawa. Morphological differences between the dorsal and palmar septa of the first extensor compartment in relation to the brachioradialis and pronator quadratus. *Annals of Anatomy*. 2024.04; 253; 152228
11. Yuzuki Sugiyama, Satoru Muro, Daisuke Ban, Keiichi Akita. Retroperitoneal fasciae as barriers for nerve and arterial passages connecting the retroperitoneal region to the peritoneal organs. *J Anat*. 2024.03;
12. Muro S, Shoji S, Suriyut J, Akita K. Anatomy of muscle connections in the male urethra and anorectal canal. *BJU international*. 2024.03; 133(6); 752-759
13. Yamada E, Umemoto T, Taguchi T, Onishi I, Yamamoto A, Tsukamoto K, Ibara T, Sasaki T, Kaburagi H, Maejima Y, Sasano T, Ohashi K, Yoshii T, Nimura A, Fujita K. Prevalence of amyloid deposition and cardiac amyloidosis in shoulder disease compared to carpal tunnel syndrome. *JSES international*. 2024.03; 8(2); 349-354
14. Yamamoto A, Yamada E, Ibara T, Nihey F, Inai T, Tsukamoto K, Waki T, Yoshii T, Kobayashi Y, Nakahara K, Fujita K. Using In-Shoe Inertial Measurement Unit Sensors to Understand Daily-Life Gait Characteristics in Patients With Distal Radius Fractures During 6 Months of Recovery: Cross-Sectional Study. *JMIR mHealth and uHealth*. 2024.03; 12; e55178
15. Yuta Tanaka, Toru Sasaki, Shigenori Kawabata, Jun Hashimoto, Hisato Higashikawa, Yuko Hoshino, Kensuke Sekihara, Yoshiaki Adachi, Koji Fujita, Akimoto Nimura, Taishi Watanabe, Yuki Miyano, Saeri Kaminaka, Yusuke Yamamoto, Toshitaka Yoshii. Assessing ulnar neuropathy at the elbow using magnetoneurography. *Clin Neurophysiol*. 2024.03; 161; 180-187
16. Chikazawa K, Muro S, Yamaguchi K, Imai K, Kuwata T, Konno R, Akita K. Denonvilliers' fascia as a potential nerve-course marker for the female urinary bladder. *Gynecologic oncology*. 2024.01; 184; 1-7
17. Muro S, Kim J, Nimura A, Tsukada S, Akita K. Morphometric Analysis of the Tibial Attachment Shape of the Anterior Cruciate Ligament and Its Relationship With the Location of the Anterior Horn of the Lateral Meniscus. *The American journal of sports medicine*. 2024.01; 52(3); 3635465231219978-690
18. Akiko Yamamoto, Koji Fujita, Eriku Yamada, Takuya Ibara, Fumiya Nihey, Takuma Inai, Kazuya Tsukamoto, Yoshiyuki Kobayashi, Kentaro Nakahara, Atsushi Okawa. Gait characteristics in patients with distal radius fracture using an in-shoe inertial measurement system at various gait speeds. *Gait Posture*. 2024.01; 107; 317-323

19. Masahiro Tsutsumi, Akari Saiki, Isao Yamaguchi, Akimoto Nimura, Hajime Utsunomiya, Keiichi Akita, Shintarou Kudo. In vivo interrelationships between the gluteus minimus and hip joint capsule in the hip internal rotation position with flexion. BMC Musculoskelet Disord. 2024.01; 25(1); 87
1. 志村 治彦, 藤田 浩二, 二村 昭元. 【こどもの手・肘外来】小児上腕骨顆上骨折 治療前に知っておきたいこと Orthopaedics. 2024.09; 37(9); 41-47
2. 北田 容章, 秋田 恵一, 伊藤 正孝, 稲井 哲一郎, 鈴木 良地, 柳井 章江, 千田 隆夫. 【倫理委員会/利益相反委員会 報告】「ご遺体を用いた人体構造に関する研究および手術手技研修に関する倫理審査等の手続きに関するアンケート」の結果とその分析 解剖学雑誌. 2024.09; 99(2); 72-79
3. 室生 暁, 堤 真大, 塚田 幸行, 秋田 恵一. 【半月板損傷を科学する】半月板損傷を理解するための解剖学的知識 臨床スポーツ医学. 2024.09; 41(9); 890-897
4. 二村 昭元, 星加 昭太, 深井 敦大. 【上腕骨外側・内側上顆炎-診療の基本と最近の進歩-】解剖学的観点からみた上腕骨外側・内側上顆炎の病態 関節外科. 2024.08; 43(8); 793-799
5. 室生 暁, 秋田 恵一. 【後腹膜アプローチを活用した消化器内視鏡外科手術】外科解剖 後腹膜領域の層解剖手術. 2024.05; 78(6); 881-890
6. 岸本 進太郎, 井原 拓哉, 辛嶋 良介, 古江 幸博, 後藤 剛, 川島 眞之. ステアリング操作に必要な肘・前腕の関節可動域の推定 日本ハンドセラピー学会誌. 2024.03; 16(2); 97-102
7. 岡村 湧介, 三上 弾, 井原 拓哉, 藤田 浩二. 膝関節ラテラルスラスト映像の合成への Human Motion Transfer の適用可能性の検証 電子情報通信学会論文誌 D: 情報・システム. 2024.01; 107(1); 25-29
8. 塚田 幸行, 室生 暁, 二村 昭元, 秋田 恵一. 【膝関節のスポーツ障害】膝関節のスポーツ障害を理解するための解剖学的知識 臨床スポーツ医学. 2024.01; 41(1); 2-6

[書籍等出版物]

1. 大見武弘 (神野哲也・監修、相澤純也・中丸宏二・編). 整形外科リハビリテーション 第2版. 羊土社, 2024.12 (ISBN : 978-4-7581-1005-1)
2. 秋田 恵一, 二村 昭元. 運動器臨床解剖学—チーム秋田の「メゾ解剖学」基本講座—. 全日本病院出版会, 2024.05 (ISBN : 978-4-86519-825-6)

[総説]

1. Tharathorn Suwatthanarak, Vitoon Chinswangwatanakul, Asada Methasate, Chainarong Phalanusitthepha, Minoru Tanabe, Keiichi Akita, Thawatchai Akaraviputh. Surgical strategies for challenging common bile duct stones in the endoscopic era: A comprehensive review of current evidence. World J Gastrointest Endosc. 2024.06; 16(6); 305-317
2. Akimoto Nimura, Haruhiko Shimura, Shota Hoshika, Atsuhiko Fukai, Keiichi Akita. Elbow anatomy in perspective of joint capsule and surrounding aponeuroses: a narrative review. JSES Int. 2024.05; 8(3); 654-660
1. 井原 拓哉. 【最適な非対称性動作を考える】最適な非対称性立ち上がり動作の獲得をめざした理学療法—運動器疾患 理学療法ジャーナル. 2024.09; 58(9); 1025-1030
2. 川端 茂徳, 橋本 淳, 佐々木 亨, 吉井 俊貴. 神経磁界測定による脊髄・末梢神経機能評価 脊髄外科. 2024.04; 38(1); 12-16
3. 山田 哲也, 川端 茂徳, 佐々木 亨. 【ここまで来た!胸郭出口症候群の診断と治療】神経磁界計測による胸郭出口症候群の神経機能障害部位の可視化 臨床整形外科. 2024.02; 59(2); 167-173

[講演・口頭発表等]

1. Keiichi Akita. Anatomical Insights: Hip Joint Capsule, Ligaments, and Muscular Interactions. 3rd Medacta Orthopaedic Research and Education (M. O. R. E.) Japanese Symposium 2024.10.14 Minato, Tokyo

2. Keiichi Akita. Fostering Effective Anatomy Educators: Developing new ideas based on study of the past. The 21st Congress of the International Federation of Associations of Anatomists (IFAA) Satellite Symposium 2024.09.09 Seoul, Korea
 3. Akimoto Nimura, Keiichi Akita. Anatomical Study about Stabilizing Structures in the Trapeziometacarpal Joint. The 21st Congress of the International Federation of Associations of Anatomists (IFAA) 2024.09.08 Gwangju, Korea
 4. Satoru Muro, Takuya Ibara, Yuzuki Sugiyama, Akimoto Nimura, Keiichi Akita. Evaluating accuracy in AI-powered serial segmentation for CT, MRI, Visible Human, and histological sections. The 21st Congress of the International Federation Association of Anatomists (IFAA) 2024.09.06 Gwangju, Korea
 5. Keiichi Akita, Satoru Muro. Relationship between the layered structure of the musculature of the anal canal and the mechanism of hemorrhoidal fistula formation. The 21st Congress of the International Federation of Associations of Anatomists (IFAA) 2024.09.05 Gwangju, Korea
 6. Yuzuki Sugiyama, Satoru Muro, Daisuke Ban, Keiichi Akita. Spatial relationship between the retroperitoneal fasciae on the dorsal side of the pancreas and the nerves. 15th International Symposium of Clinical and Applied Anatomy 2024.06.28 Swansea, United Kingdom
 7. Toru Sasaki, Kazuya Tsukamoto, Koji Fujita. Comparison between Outcomes of Carpal Tunnel Release and Opponensplasty for Severe Carpal Tunnel Syndrome. Federation of European Societies for Surgery of the Hand (FESSH 2024) 2024.06.26 Rotterdam, Netherlands
 8. Masayo Harada, Georgina Djameh, Tomoko Kitabata, Keiichi Akita. Sequential analyses of the Wolffian duct differentiation in male mice. The 57th Annual Meeting of Japanese Society of Developmental Biologists 2024.06.20 Kyoto, Kyoto
 9. Keiichi Akita. The Role of Anatomical Dissection Practices in Japanese Medical and Dental Curriculum. 3rd National Conference of Anatomical Didactics 2024.06.08 Łódź, Poland
1. 室生 暁. 新しい知見で読み解く肛門管の解剖. 西新井大腸肛門科医師セミナー 2024.12.21 足立区, 東京都
 2. 秋田 恵一. 膝関節の靭帯の解剖学. 第 2 回 膝関節学会 教育研修講演 8 原点回帰 膝関節の解剖 2024.12.07 宜野湾市, 沖縄県
 3. 二村 昭元. 鎖骨の発生と進化、肩鎖関節の解剖. 第 15 回肩関節機能研究会 2024.11.30 千代田区, 東京都
 4. 室生 暁, Edinam Danyo, 秋田 恵一. 肛門粘膜下を縦走する Treitz ' s muscle は内肛門括約筋の筋束が方向を転じた平滑筋である. 第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会 2024.11.30 横浜市, 神奈川県
 5. 原田 理代, ジャメ ジョージナ, 北畑 朋子, 秋田 恵一. 雄マウスにおける中腎管の形態変化の解析. 第 47 回日本分子生物学会年会 2024.11.27 福岡市, 福岡県
 6. 二村 昭元. 運動器の解剖 最近の知見. 東京柔道整復専門学校 同窓会研究会 令和 6 年度秋の研究会 2024.11.23 練馬区, 東京都
 7. 二村 昭元. 運動学的呼吸の可視化. 東京柔道整復専門学校 同窓会研究会 令和 6 年度秋の研究会 2024.11.23 練馬区, 東京都
 8. 二村 昭元. 肩関節の解剖ー最近の知見ー. 山形整形外科研究会 肩関節セミナー 2024.11.22 山形市, 山形県
 9. 二村 昭元, 杉浦 沙羅, 中澤 正孝, 望月 智之, 秋田 恵一. 肩鎖関節周辺の解剖: 肩甲帯の支持性という観点. 第 51 回日本肩関節学会学術集会 2024.10.26 京都市, 京都府
 10. 橋本 淳, 川端 茂徳, 東川 尚人, 田村 聡至, 佐々木 亨, 足立 善昭, 平井 高志, 吉井 俊貴. 脊磁図、末梢神経磁図、筋磁図の臨床応用の可能性 脊磁図による脊髄・神経根の神経機能評価. 第 54 回 日本臨床神経生理学会学術大会 2024.10.25 札幌
 11. 佐々木 亨, 川端 茂徳, 橋本 淳, 東川 尚人, 田村 聡, 赤座 実穂, 足立 善昭, 宮野 由貴, 渡部 泰士, 吉井 俊貴. 脊磁図、末梢神経磁図、筋磁図の臨床応用の可能性 上肢末梢神経磁界計測の臨床応用の可能性. 第 54 回 日本臨床神経生理学会学術大会 2024.10.25 札幌
 12. 脇 智彦, 佐藤 優樹菜, 塚本 和矢, 山本 皓子, 山田 英莉久, 井原 拓哉, 佐々木 亨, 黒岩 智之, 二村 昭元, 杉浦 裕太, 藤田 浩二, 吉井 俊貴. 動画と AI を活用することで超音波での手根管症候群の重症度推定精度が向上する. 第 35 回 日本整形外科超音波学会 2024.10.19 新宿区, 東京都

13. 塚本 和矢, 二瓶 史行, 中原 謙太郎, 佐々木 亨, 井原 拓哉, 山田 英莉久, 山本 皓子, 平井 高志, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 藤田 浩二. インソール埋め込み型慣性センサを用いた頸髄症の歩行解析 日常生活内での疾患スクリーニングへの応用を目指して. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.18 新宿区, 東京都
14. 坂 なつみ, 二村 昭元. 上肢解剖学から見る病態生理の深化と探索 橈骨遠位端骨折と解剖. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.18 新宿区, 東京都
15. 野呂瀬 美生, 二村 昭元, 秋田 恵一. 上肢解剖学から見る病態生理の深化と探索 母指 CM 関節安定化機構の解明を目指した, 筋・腱膜・関節包に基づく解剖学的解析. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.18 新宿区, 東京都
16. 今谷 潤也, 二村 昭元, 秋田 恵一. 上肢解剖学から見る病態生理の深化と探索 肘関節不安定症の診療に役立つ臨床解剖. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.18 新宿区, 東京都
17. 菱山 隼, 二村 昭元, 藤田 浩二, 佐々木 亨, 吉井 俊貴, 秋田 恵一. 周囲筋腱膜と関節包に基づいた母指 MP 関節橈側の解剖学的検討. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.18 新宿区, 東京都
18. 脇 智彦, 佐藤 優希菜, 塚本 和矢, 山本 皓子, 山田 英莉久, 井原 拓哉, 佐々木 亨, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 杉浦 裕太, 藤田 浩二. 手根管症候群に対する AI モデルの診断精度比較 超音波画像から重症度診断を行うために必要な情報量の検討. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.17 新宿区, 東京都
19. 塚本 和矢, 佐々木 亨, 井原 拓哉, 野呂瀬 美生, 山田 英莉久, 山本 皓子, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 藤田 浩二. 母指 CM 関節症は重症ほど母指の回内角度が低下する. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.17 新宿区, 東京都
20. 井原 拓哉, 藤田 浩二, 脇 智彦, 塚本 和矢, 山本 皓子, 山田 英莉久, 二村 昭元, 秋田 恵一. 股関節の力学的負荷を AI で推定する 運動学情報のデータセットの結合による精度向上の検証. 第 39 回 日本整形外科学会基礎学術集会 2024.10.17 新宿区, 東京都
21. 山本 皓子, 山田 英莉久, 井原 拓哉, 塚本 和矢, 脇 智彦, 佐々木 亨, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 若林 良明, 藤田 浩二. 健診データから見る骨粗鬆症の実態と簡易スクリーニングに向けて. 第 26 回 日本骨粗鬆学会 2024.10.11 金沢市, 石川県
22. 首藤 孝治, 志村 治彦, 野田 佑真, 佐々木 亨, 藤田 浩二, 二村 昭元. 手根骨尺側長軸脱臼の一例. 第 73 回 東日本整形災害外科学会 2024.09.28 足柄下郡, 神奈川県
23. 串田 淑久, 竹村 司, 塩瀬 沙耶, 川村 悟司, 福島 和之, 藤田 浩二, 二村 昭元. 若年者キーンバック病 (Lichtman 分類 stage IIIC) に対して橈骨短縮骨切り, 血管柄付き骨移植を行った 1 例. 第 73 回 東日本整形災害外科学会 2024.09.28 足柄下郡, 神奈川県
24. 二村 昭元. 関節安定化に関わる解剖. NAGASAKI ARTHROSCOPE CLUB 2024.09.27 長崎市, 長崎県
25. 秋田 恵一. 骨盤底の解剖学: 最近の進歩と加齢. 第 71 回 北日本産科婦人科学会総会・学術講演会 2024.09.21 札幌市, 北海道
26. 二村 昭元. 教科書には載っていない肩関節解剖のはなし. 第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会 2024.09.14 横浜市, 神奈川県
27. 秋田 恵一. 総論・肩関節. 運動器リハビリテーションのための臨床解剖学講座 1 2024.09.14 Web
28. 井原 拓哉. 臨床で使えるデジタルバイオマーカーとしての力学的負荷可視化のための試み~変形性関節症患者の歩行への着目~. 第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会 2024.09.14 横浜市, 神奈川県
29. 室生 暁. 精緻な肛門機能を創り出す構造の拡張性. 第 29 回大腸肛門機能障害研究会 2024.08.31 千代田区, 東京都
30. 沼沢 益行, 那波 伸敏, 山口 久美子, 秋田 恵一, 山脇 正永. 医学生における grit と抑うつの関係. 第 56 回日本医学教育学会大会 2024.08.10 東京
31. 室生 暁. 鼠径管の解剖と CoMBI 法の応用可能性. 順天堂大学解剖学・生体構造科学セミナー 2024.08.05 文京区, 東京都
32. 秋田 恵一. 骨盤底における平滑筋の拡がりと役割について. 第 26 回日本女性骨盤底医学会 2024.08.04 横浜市, 神奈川県

33. 室生 暁, 近澤 研郎, 秋田 恵一. 膕と肛門管の間に位置する 骨格筋複合体の解析. 第 26 回日本女性骨盤底医学会 2024.08.03 横浜市, 神奈川県
34. 一井 直樹, 近澤 研郎, 桑田 知之, 室生 暁, 秋田 恵一. MRI 検査の画像を用いた骨盤臓器脱における内閉鎖筋と肛門挙筋の形態学的解析. 第 26 回日本女性骨盤底医学会 2024.08.03 横浜市, 神奈川県
35. 二村 昭元. 関節外傷. 医療研修会 (スキルアップコース B) 2024.08.01 千葉市, 千葉県
36. 秋田 恵一. 動的支持機構をつくる関節包: 構造から考察する関節の痛み. 第 14 回北九州・筑豊運動器の疼痛を考える会 2024.07.31 北九州市, 福岡県
37. 原田 理代, 秋田 恵一. マウスの膕は、胎生後期に側方に成長し、出生後は下方に伸長する. 第 64 回日本先天異常学会学術集会 2024.07.26 江戸川区, 東京都
38. 室生 暁. 下肢の筋との関係で見える骨盤底筋群～骨盤底の見方を変える 7 つのヒント～. encounter オンラインセミナー 2024.07.13 Web
39. 秋田 恵一. 固有背筋. 運動器リハビリテーションのための臨床解剖学講座 2024.07.13 Web
40. 室生 暁. 体幹と下肢をつなぐ腱と筋膜の解剖学. Fascia Fest: A Global FES of Science and Wellness 2024.07.06 Web
41. 秋田 恵一. 股関節周囲組織の機能と役割、そして修復 (解剖編). ESTiMa 第 2 回 股関節編 2024.06.26 千代田区, 東京都
42. 井原 拓哉. AI を用いた変形性関節症患者の歩行解析. 第 6 回日本メディカル AI 学会学術集会 2024.06.21 名古屋市, 愛知県
43. 室生 暁, 馬上 頌子, 秋田 恵一. 肛門挙筋の層序の解析から読み解く筋束の機能的配置. 第 33 回 骨盤外科機能温存研究会 2024.06.15 文京区, 東京都
44. 近澤 研郎, 室生 暁, 山口 久美子, 秋田 恵一, 今井 賢, 桑田 知之, 今野 良. 陰部神経管をつくる内閉鎖筋筋膜は仙結節靭帯・仙棘靭帯と連続する. 第 33 回 骨盤外科機能温存研究会 2024.06.15 文京区, 東京都
45. 井原 拓哉. AI を用いた変形性股関節症患者の股関節累積負荷可視化の試み. 日本運動器理学療法学会第 2 回 サテライトカンファレンス 2024.06.01 Web
46. 山本 皓子, 山田 英莉久, 井原 拓哉, 塚本 和矢, 脇 智彦, 佐々木 亨, 若林 良明, 平澤 直之, 二村 昭元, 藤田 浩二, 吉井 俊貴. 中高年女性における握力測定の意義 将来の転倒骨折予防のための予備的検討. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.26 福岡市, 福岡県
47. 塚本 和矢, 松井 良太, 井原 拓哉, 山田 英莉久, 山本 皓子, 佐々木 亨, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 杉浦 裕太, 藤田 浩二. 手指動作の動画解析による手根管症候群スクリーニング法の開発. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.26 福岡市, 福岡県
48. 脇 智彦, 佐藤 優希菜, 塚本 和矢, 山本 皓子, 山田 英莉久, 小山 恭史, 井原 拓哉, 吉井 俊貴, 二村 昭元, 杉浦 裕太, 藤田 浩二. 機械学習を用いた超音波検査による手根管症候群診断の試み 重症度診断への新しいアプローチ. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.26 福岡市, 福岡県
49. 室生 暁. 腹壁と鼠径管の解剖から結合組織を考える. 第 22 回日本ヘルニア学会学術集会 2024.05.25 新潟市, 新潟県
50. 太田 剛, 藤原 鷹, 二村 昭元, 藤田 浩二, 吉井 俊貴. 当院における術後コンパートメント症候群 (well leg compartment syndrome) の経験. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.25 福岡市, 福岡県
51. 二村 昭元. 上腕骨外側上顆炎の診断と治療の最前線 上腕骨外側上顆炎の病態と関連した解剖. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.23 福岡市, 福岡県
52. 山本 貴瑛, 志村 治彦, 藤田 浩二, 佐々木 亨, 二村 昭元, 吉井 俊貴. 上腕骨骨幹部骨折に対する手術合併症の検討. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.23 福岡市, 福岡県
53. 田中 雄太, 川端 茂徳, 佐々木 亨, 橋本 淳, 東川 尚人, 足立 善昭, 渡部 泰士, 藤田 浩二, 二村 昭元, 吉井 俊貴. 神経磁界計測による神経原性胸郭出口症候群の非侵襲的評価. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.23 福岡市, 福岡県

54. 藤原 鷹, 太田 剛, 藤田 浩二, 二村 昭元, 吉井 俊貴. 橈骨 ultra distal 骨密度の検討. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 2024.05.23 福岡市, 福岡県
55. 秋田 恵一. 股関節とその周囲構造の解剖学的解析ならびに骨盤底との関係について. 第 97 回日本整形外科学会学術総会 教育研修講演 7 2024.05.23 福岡市, 福岡県
56. 二村 昭元. 膝関節 (関節外). 運動器臨床解剖学講座 2024.05.18 Web
57. 二村 昭元. TFCC の解剖. 第 67 回日本手外科学会学術集会 2024.04.29 奈良市, 奈良県
58. 二村 昭元, 野呂瀬 美生, 塚本 和矢, 藤田 浩二. 母指 CM 関節の解剖—骨・筋・腱膜そして関節包. 第 67 回日本手外科学会学術集会 2024.04.29 奈良市, 奈良県
59. 秋田 恵一. 食道の横隔膜貫通部の解剖学的解析. 第 45 回 関東腹腔鏡下胃切除研究会 2024.04.27 千代田区, 東京都
60. 田中雄太, 川端茂徳, 佐々木亨, 橋本淳, 東川尚人, 足立善昭, 渡部泰士, 山田哲也, 藤田浩二, 二村昭元, 吉井俊貴. 神経磁界計測法による神経原性胸郭出口症候群の非侵襲的評価. 第 67 回日本手外科学会学術集会 2024.04.26 奈良
61. 東海林 裕, 永井 鑑, Tharnmanularp Suthasinee, Jiamjunyasiri Areeya, 室生 暁, 秋田 恵一, 絹笠 祐介, 鄭 子文, 安藤 昌之. 食道周囲密性結合織についての発生学的研究. 第 124 回 日本外科学会定期学術集会 2024.04.20 常滑市, 愛知県
62. 井原 拓哉. 変形性股関節症の動作分析の Update. 森ノ宮医療大学 第 13 回森ノ宮適塾研修会 2024.04.17 大阪市, 大阪府
63. 秋田 恵一. 骨盤底の構造について: 我々の教室の研究より. 順天堂大学泌尿器科 講演 2024.04.15 文京区, 東京都
64. 平野 仁菜, 室生 暁, 秋田 恵一. 胸管の走行と胸膜との関係. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 2024.03.23 那覇市, 沖縄県
65. 山口 久美子, 三代澤 圭祐, 室生 暁, 岡本 健太郎, 岡本 将太, 秋田 恵一. 裸眼立体視ディスプレイは全ての学習者の空間認識を補助する. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 2024.03.23 那覇市, 沖縄県
66. 山本 凜太郎, 二村 昭元, 秋田 恵一. 肘頭の骨形態と上腕三頭筋の筋内腱の停止部における解剖学的関係. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 2024.03.22 那覇市, 沖縄県
67. 室生 暁, 秋田 恵一. 深会陰横筋は直腸壁と連続した平滑筋である. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 2024.03.22 那覇市, 沖縄県
68. 室生 暁. 骨盤領域の解剖学研究. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会 2024.03.21 那覇市, 沖縄県
69. 塚田 祐一郎, 室生 暁. 解剖学から考える骨盤手術 ~ 外科医 × 解剖学者 ~. 骨盤解剖手術手技 Web セミナー 2024.03.12 Web
70. 二村 昭元. スポーツ障害のマネジメントに役立つ運動器解剖学. 14th Sports Medicine Forum 2024.03.10 千代田区, 東京都
71. 室生 暁. 下肢の筋との関係で見る骨盤底筋群 ~ 骨盤底の見方を変える 7 つのヒント ~. 運動器リハビリテーションのための臨床解剖学講座 2024.03.09 Web
72. 秋田 恵一. 骨盤底と直腸前方部の組織構造について. 札幌医科大学直腸外科カダバートレーニングセミナー 2024.03.09 札幌市, 北海道
73. 井原 拓哉, 脇 智彦, 藤田 浩二, Chengger Li, Jin Ze, 押部 弘子, 鈴木 賢治. スモールデータ深層学習を用いた単純 X 線画像での舟状骨骨折検知 AI システムの開発. 2023 年度生体医歯工学共同研究拠点成果報告会 2024.03.08 文京区, 東京都
74. 二村 昭元. 超音波画像と関連した骨関節解剖. 千葉県運動器エコーセミナー 2024.03.03 千葉市, 千葉県
75. 山本 凜太郎, 二村 昭元, 星加 昭太, 秋田 恵一. 上腕三頭筋停止腱の構成と線維配列の解剖学的解析. 第 36 回日本肘関節学会学術集会 2024.03.02 札幌市, 北海道
76. 室生 暁. 体幹と下肢の関連を考える -骨盤底筋と恥骨周囲の解剖-. 第 3 回にぼし会勉強会 2024.02.17 文京区, 東京都
77. 二村 昭元. 第 5 回 手関節. 運動器リハビリテーションのための臨床解剖学講座 2024.01.20 Web

[受賞]

1. Top Downloaded Article, 2024年03月
2. 学術大会長賞, 第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 2024年09月

[その他業績]

1. NECと東京医科歯科大学、AIにより慢性腰痛のセルフケアを支援する技術を開発～スマートフォンで在宅でも迅速に原因を推定し、改善運動を推薦～, 2024年03月

-